



前代未聞の地震に想定外の被害を受けた熊本。  
 長引く余震に怯え、車中泊や避難所生活に苦しむ人達が、一日も早く安全、安心に暮らせる復興を願う声援したい。  
 復興へ小さな声  
 束になる  
 八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

今月の色

み空色

み空の「み・御」は尊いものの称。「み空行く雲にもかまな」(安貴王『万葉集』)  
 視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



雨が二日も続くとうんざりして、一日も早い梅雨明けを待っている。酷暑日(一日の最高気温が35℃以上)が二日も続けば悲鳴を上げてすぐに秋風が恋しくなるというのに...  
 梅雨時の雨は、時には私達に大きな被害をもたらすが、都会の命の水ガメを潤し、稲の生育にも欠かせない恵みの雨でもある。  
 雨を待つ人、雨を恨む人、今日もどんよりとした梅雨空を見上げて受け止め方はそれぞれでも、季節の移ろいは正確で、間もなく青い空に入道雲が沸き立つ夏本番を迎える。  
 ♪夏を愛する人は心強き人  
 岩をくたく波のような  
 僕の父親 (四季の唄)  
 暑さに負けず、父親のように力強く頼もしい、活力溢れる夏を大いに楽しもう。

「くまモン」の発案者は八女市出身だった



憲幸さんの母 安永 静香さん



↑ 県職員時代の名刺

4月14日、16日発生の熊本地震は同県に甚大な被害を与え、現在も多数の避難生活者が不自由な日々を送っています。峠一つ越えたお隣りに暮らす者として他人ごととは思えません。先日から、活動を封印されていた「くまモン」が漸く動きだし、子供達やお年寄り相手に、愛敬をふりまっています。

その「くまモン」の生まれた話ですが、発案者「安永憲幸」さんは、八女市馬場出身です。八女高から熊本大学法学部を卒業後、熊本県庁に就職されました。その後、グループをつくり「くまモン」を世に出すことになりましたが、その矢先(クモ膜下出血症)を発症し、55才の若さ

で急逝されました。発案した本人は、「くまモン」が国内トップクラスの人気ゆるキャラに出世した事は知らないままでした。

ご母堂、静香さんは八女市にご健在で、私たちのカラオケ仲間です。実家には沢山の「くまモン」資料が残されており、それをお借りして、災害に遭われた地域や、避難生活を余儀なくされている方々へのメッセージとして「がんばれ熊本」「がんばれ九州」のパネルを手作りで仕上げ、行き付けの居酒屋などに置かせて貰い支援の協力を頂いています。

一日も早く余震が終息することを願っています。

濱砂 國男 (立花町)

三年間一緒に行動した友に、水墨画展の案内を頂いたのが五年前、会場で素晴らしい作品の前に、自分も書きたい衝動に駆られました。其後再度のお誘いに重い腰を上げ縁を得ました。先輩方の力強く繊細な水墨画を拝見できる事を幸せに思っています。優しく丁寧なご指導を頂き、一人になれる時間に紙と墨を前に楽しめる趣味をもてた事嬉しく、又縁を作って頂いた友に感謝しています。一本の線も満足に引けません、励んで参りたいと思っています。お陰で日々の生活の中で注意深く廻りを見れるようになりました。水墨画の奥の深さに、気づき始めているこの頃です。



八女市本町 樋口 ルリ子



(株)ピープル 龍 俊男会長

第10回 ダスキンプール杯 ジュニアサッカー 大会を終えて



(株)ピープル 龍 俊介社長

当時珍しかったU-10のサッカー大会も10年となりました。主管頂く八女サッカー協会各位に心からお礼申し上げます。どの世界でも練習する人全てが一流のプレーヤーになれるわけではありません。競争社会の厳しい現実です。そこで私は4年生(10歳)以下のメンバーでチームを作って大会を開けば、小さい時から試合を経験でき、5・6年生になってレギュラーになれなくてもクラブの一員として共に戦ったという喜びが共有できると考えました。第1回大会は広川運動公園でした。第8回大会より天然芝のグリーンフィールド八女で開催しています。

オリンピックに金・銀・銅メダルがあるように、本大会でも優勝、準優勝、三位のチームにメダルを授与します。運動会のクラブ紹介の時、このメダルを胸に堂々と行進すると聞いています。主催者として何より嬉しいことです。

この大会のもう一つの狙いはサッカー人口の拡大です。八女市から高橋大輔、祐太郎兄弟、田中佑昌選手という全国トップレベルの選手が出ました。いつの日かこの大会経験者からエースストライカーが出ることを期待しています。

今回印象に残ったのは出場選手、保護者、応援する人みんな意識やマナーが10年前に比べて格段に向上したことです。指導者も少しずつ世代交代が始まっています。

弊社が地域貢献の一つとして始めた大会が10年も続き、安心して後継者にバトンを渡せることをありがたく思っています。

優勝メダルを胸に福島小年サッカークラブ



28. 5. 7

矢部川源流・私の里の四季 ⑤7 ユキザサ(雪笹) [ユリ科]

ユキザサは矢部村では釈迦岳・御前岳周辺に広がるブナ林の林床で見ることが出来る。

花期は5~7月。若芽や若葉はおひたしにして食べられる。

また、根や根茎は鹿薬(ろくやく)という名の生薬として頭痛薬に利用されている。

名の由来は、小花の咲く様子が雪のように美しく、葉が笹の葉に似ているから。



黒木町 松尾 重根